

高等部の教育について

高等部では、卒業後、地域社会の中で自立し豊かに暮らしていくために、必要な知識や技能、態度の育成を目指しています。具体的には以下に示す4つの目指す生徒像の具現化を図り、家庭生活や社会生活において豊かな自己実現を目指し自らの幸福を誠実に追求する生徒を育成します。

指導にあたっては、生徒の障害の状態・能力・適性を的確に把握し、将来を見通した適切な指導及び支援を行います。

1. 学部教育目標（目指す生徒像）

(1) 進んで運動に取り組む、心身共にたくましい生徒（健康）
ア 意欲的に運動に取り組み、健康で丈夫な身体をつくる。 イ 歯磨きや洗顔など基本的な生活習慣を身に付け、清潔な身体を保つ。 ウ 健康や身体に関する自分の課題を理解し、自ら改善しようと努める。
(2) 社会人としての生活習慣を身に付け、自ら行動できる生徒（自立）
ア 社会生活に必要な基本的なルールを理解して生活できる。 イ あいさつや返事、報告、要求を（身振り等で）伝えることができる。 ウ 他の人を思いやり協調して集団生活に参加することができる。
(3) 実生活に必要な知識や技能を進んで身に付け、実践できる生徒（学習）
ア 生活に必要な言葉や数量を理解して、適切に活用することができる。 イ 家庭生活・職業生活に必要な知識と技能を身に付け実践できる。 ウ 社会との関わりや活動範囲を広げる情報機器や交通手段を適切に活用できる。
(4) 自立と社会参加を目指して、意欲的に働く生徒（勤勉）
ア 働くことの楽しさや意味を理解し、進んで仕事ができる。 イ 素直に、ひたむきにどんなことにも一生懸命に取り組むことができる。 ウ 生活に楽しみを見つけ、社会との関わりを深め豊かな自己実現を図る。

2. 今年度の重点努力事項

- 個別の指導計画及び個別の教育支援計画を基に、障害の重度・重複化・多様化に対応した指導を推進します。
 - 多様な障害に応じた指導を充実させるために「自立活動」の指導内容や指導方法の工夫を図ります。
 - 自閉症の障害特性に応じた一貫性のある指導・支援に取り組めます。
 - 社会の一員として自立し、社会に積極的に関わろうとする態度を身に付けるため、社会形成・社会参加に関する教育（シチズンシップ教育）を推進します。
- 作業学習で効果的な指導や支援を行うために、指導体制及び指導内容を工夫します。
- 自立と社会参加を推進するための職業（キャリア）教育の充実を図ります。
 - 学年や実態に応じた的確なキャリア教育を推進します。
 - 就労施設や関係諸機関との連携を深め、現場実習等の充実を図ります。
- 近隣の学校との交流及び共同学習を計画的・継続的に推進します。
- 卒業後の就労・生活支援が円滑に移行できるように、個別の教育支援計画（個別移行支援計画）を作成し関係機関との連携を図ります。
- 具体的な行動訓練を通して**防犯・防災についての対処行動**を身に付けさせます。